

ひざし

2016 3

No. 205

玉ねぎ播種作業の様子
(湧別町北兵村一区 中川孝二さん宅)

今年も豊穣の秋を願って 28年玉ねぎ播種作業始まる

立春が過ぎて冬の寒さも和らぎ出した2月中旬、上湧別地区の玉ねぎ栽培農家では、今年の玉ねぎの播種作業が一斉に始まりました。

今回、取材にうかがった湧別町北兵村一区の中川孝二さんの家でも2月17日からビニールハウス内に玉葱の育苗マットを伏せ込む作業が始まりました。



専用の機械でマットの伏せ込みを進めていきます

で、後継者の中川悠一さんに話をうかがうと「去年は春先の少雨や低温などで圃場管理には苦労しましたが、そのおかげもあって良い出来秋を迎えることが出来ました。今年もしつかり圃場管理をおこなって美味しい玉ねぎを消費者に届けたいです」と忙しい作業の合間に笑顔で話してくれました。

今年も皆様方が豊穣の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます。

玉葱は例年2月中旬から3月上旬まで、極早生種、早生種、中晩生種の順に播種がおこなわれ、ビニールハウスに伏せ込みした後は、定期的な灌水と温度管理をおこないながら4月下旬にはじまる移植作業までの間、育てられます。

中川さんの家では、今年は玉ねぎ14haの栽培を予定しているとのこと

今年も春の山菜「ギョウジャニンニク」の収穫始まりました

湧別町南兵村三区の野田秀利さんの家では、ビニールハウスでギョウジャニンニクを栽培しており、今年も2月中旬から収穫作業が始まりました。

ギョウジャニンニクは、北海道では春が旬の山菜でアイヌネギの俗称でも有名で、市場では貴重な山菜として重宝されています。

収穫作業は、自然と同じように落葉を敷き詰められた状態で育ったギョウジャニンニクを一本一本丁寧に選びながら、ナイフで切り取って収穫し、JAで50gパックに詰めます。

野田さんに話をうかがったところ、今年はそのほど冷え込みも厳しくないせい、か、伸びるのが早くて、収穫するのが間に合わないぐらいです。忙しい収穫作業の合間に笑顔で話してくれました。



ギョウジャニンニク収穫の様子

出荷は、3月に最盛期を迎えて4月中旬までおこなう予定ですが、外は白銀の世界ですが、ビニールハウスの中では青々としたギョウジャニンニクが、一足早い春の訪れを感じました。

美味しいじゃがいも創作料理で競い合う

第11回じゃがリンピック開催



じゃがリンピックの参加者と関係者のみなさん



金メダルを獲得した「ポテトンかつ」とメダルをもつ大久保颯人(はやと)君(左円内)

美味しいじゃがいも創作料理で競い合う第11回じゃがリンピック(白滝じゃが生産部会加工班主催)が2月20日、遠軽町白滝の白滝基幹集落センターで開催され、出品者12名からじゃがいも創作料理13品が出品され、金メダル目指して競い合いました。

町白滝から参加した大久保颯人くん・真由美さん親子の「ポテトンかつ」が金メダルに輝き、高橋望さんの「ほくほくかきあげ」が惜しくも銀メダル、伊藤直枝さんの「じゃがいも羊かん」、児玉三枝子さんの「じゃこ入りあげあげポテサラ」がそれぞれ銅メダルに選ばれました。

優勝したポテトンかつは、輪切りにしたじゃがいもを豚肉で包んだ揚げ物で、審査員から相性の良いじゃがいもと豚肉を使って手軽に美味しく作れることなどが高い評価をうけました。パン粉をつける作業を手伝った颯人くんに話を聞くと「お母さんと相談しながら作ってみました。金メダルをとれるとは思っていませんでしたのでびっくりしています」と取った金メダルをうれしそうに見せながら話してくれました。

- ◎ 玉ねぎ播種作業始まる
- ◎ ギョウジャニンニクの収穫始まる
-
- ◎ 第11回じゃがリンピック開催
-
- ◎ JAえんゆう女性部 第17回通常総会開催
- ◎ オホーツクJA女性部大会に参加
-
- ◎ 農薬講習会開催
- ◎ 乳検組合講習会
- ◎ 青色申告会上湧別支部第26回定期総会
-
- ◎ 普及センターより
- ◎ 第28回JA北海道大会 パネルディスカッション
-
- ◎ 理事会のあらまし
- ◎ 読者の声
-
- ◎ クロスワードパズル
- ◎ 畜産課からのお知らせ
-
- ◎ 春の農事部懇談会開催について
- ◎ いもたま作造くん

今月の主な記事

J Aえんゆう女性部 第17回通常総会開催

J Aえんゆう女性部は、2月10日に第17回通常総会をJ A本所大会議室で部員51名が出席し、各関係機関から来賓各位を迎えて開催しました。

冒頭、新国妙子女性部長の代役として挨拶をおこなった松浦三代紀副部長は、部員各位の女性部活動に対するご理解とご協力に感謝の言葉を述べるとともに、今後も女性部活動への積極的な参加をお願いしたいと話しました。

来賓の遠軽町農政林務課の澤口浩幸課長、網走農業改良普及センター遠軽支所氏家俊典支所長、J Aえんゆう菅井誠専務理事からの祝辞と衆議院議員の武部新氏からの祝電披露のあと、北兵村一区の藤井あかねさんと北兵村二区の高柳千鶴さんの2名を議長に選出して議事進行をおこない、平成27年度事業報告ならびに収支決算、平成28年度事業計画ならびに収支予算の全提出議案が滞りなく審議の上、満場一致で承認され、最後に新J A女性の歌を出席者全員で唄い、盛会のうちに閉会となりました。



定期総会の様子（写真上）
と開会挨拶をする松浦三代紀副組合長（右円内）



オホーツクJ A女性部大会に参加しました



大会に出席した女性部員の皆さん

J Aえんゆう女性部は2月1日～2日、網走湖荘で開催された第35回オホーツクJ A女性部大会・家の光大会に網走管内一円から300名、J Aえんゆう女性部からは部員23名で参加してきました。

大会は、北海道J A女性部協議会主催の海外視察研修やJ A全国女性大会などの報告、他J A女性部からの組織活動体験発表、家の光記事活用体験発表がおこなわれ、その後、全体懇親会にすすみしました。

また会場では、家の光記事を活用するなどして、農作業の合間に作った生活に彩りをそえる手づくり作品を展示し、また他のJ A女性部員が作った様々な作品を見ることが出来ました。

二日目には、大塚寛恵さん（エイトロープ代表）から「簡単ダイエット&デトックス」の題目で講演を聞かせていただき、有意義なうちに2日間の大会を終えることが出来ました。

農薬講習会が 開催されました

J A 資材課は各地区で耕作農家を対象とした農薬講習会を開催しています。2月3日には、上湧別地区の農薬講習会をJ A 本所大会議室で開催しました。講習会では、上湧別地区で主に栽培している玉ねぎ、ブロッコリー、甜菜などを中心にホクレン北見支所、農薬メーカーの担当者から、現在の農薬情勢や病気の発生状況、防除対策などについて、様々な情報提供を受けました。



農薬講習会の様子

「乳房炎の予防」について学ぶ 乳検組合講習会

えんゆう乳牛検定組合（情野修組合長）は、2月17日、J A 遠軽支所で講習会を開催し、組合員20名が参加しました。

今回は、オホーツク農業共済組合遠軽診療所の羽上田陽子獣医師から「乳房炎の予防」について教えてもらいました。

羽上田獣医師は、乳牛が乳房炎になったときの経済的損失の大きさを話した上で、「乳房炎は乳頭口から菌が入るので乳房炎になります。だからこそ基本を忠実に守って予防することが大切です」と話し、「正しい搾乳手順」、「乳頭口を痛める原因になる過搾乳をしない」こと



乳検組合講習会の様子

の重要性をわかりやすく教えてくれました。また、その他、治りにくい乳房炎への対処法などをあわせて学びました。

最後に羽上田獣医師から、「知っていてやらないことは、知らないことよりダメです。ぜひトライしてください」と叱咤激励され、その後は参加者と質疑応答の後、閉会しました。

青色申告会上湧別支部 第26回定期総会

えんゆう農協青色申告会上湧別支部は、第26回定期総会と税務研修会を1月28日にJ A 本所で、会員69名が出席のもと、湧別町とJ A から来賓各位を招いて開催しました。

定期総会は、名取浩二会長の開会挨拶、来賓からの祝辞を受けたあと、湧別町北兵村一区の高嶋慎一さんが議長を務め、平成27年度事業報告を始めとする全提出議案が滞りなく審議の上、承認されました。

また、総会終了後に開催した税務研修会では、講師をつとめた松井一晁税理士事務所の市村彰則税理士から、

今年の税制のポイントなどについて講義を受けるとともに、3月の確定申告に向けて、講師と会員各位の間で様々な質疑応答が交わされ、有意義な研修会とすることが出来ました。



開会挨拶をする名取浩二会長

畑作

一 てんさい

(1) QoI剤耐性褐斑病菌について

平成26年、褐斑病に対する防除薬剤として広く用いられているQoI剤（フリント、アミスター）耐性菌の発生が十勝地方で認められていましたが、昨年オホーツク管内でも調査の結果耐性菌が広く存在することが分かりました（表1）。

QoI剤は根腐病、葉腐病を対象に年一回の使用に留めましょう。

表1 テンサイ褐斑病菌QoI剤耐性菌検定結果

振興局	年	調査市町村数	調査ほ場数	耐性菌検出		耐性菌	
				ほ場数	ほ場率	菌株数	株数 耐性菌率(%)
オホーツク	H26	2	3	1	33	9	2 22
	H27	13	29	18	62	143	60 42
十勝	H26	13	36	21	58	122	55 45
	H27	4	8	7	88	25	15 60

道総研中央農業試験場

(2) 移植てんさいのリン酸減肥について

三ヶ年にわたりリン酸減肥技術の普及性と後作物に対する影響を検討しました。いずれも生育、収量に影響無く、肥料費コスト削減による収益性の向上が認められました（表2）。

土壌分析を実施し、有効態リン酸が10mgを超えるほ場では是非取り組んでください。

表2 リン酸減肥による収益性(円/10a)

年次	試験ほ場数	収益差額	肥料費差額	収益性の変化
H25	19	+931	-2,768	+3,699
H26	15	+1,159	-1,952	+3,111
H27	5	+4,794	-3,844	+8,638
3ヶ年平均		+1,154	-2,592	+4,106

網走農業改良普及センター畑作部会

二 秋まき小麦

(1) 27年産オホーツク管内秋まき小麦高タンパクの要因について

① 施肥量が多い
起生期以降の窒素追肥量が多い。起生期以降少雨傾向で、施用効果が十分発現せず、その一部は登熟期に遅れて発現した。

② 起生期以降の少雨
登熟前半（出穂期〜開花期）に十分な降雨があり、この間の窒素吸収利用効率が高まった。

③ 登熟期間の低温と適度な降雨

(2) 今後の品質安定に向けて

① 適正なタンパクとするための追肥量の目安
過去の生産性を考慮し、目標収量を設定し生育診断し施肥します。起生期+幼穂形成期の追肥上限は12kg、止葉期以降は上位茎数と葉色値で算出します。

② ほ場の保水力向上と根張りの確保
有機物施用、緑肥すき込みなどにより土壌物理性の改善をします。

表3 きたほなみのタンパク(%)状況

地区名	年産	平均		
		最高	最低	最低
オホーツク	H26	10.8	12.6	8.5
	H27	11.8	12.7	10.0
十勝	H26	13.1	14.5	11.7
	H27	10.9	12.4	9.3

ホクレン調べ

表4 小麦実証ほデータ概要

区分	点数	タンパク収量(kg/10a)		歩留(%)	追肥窒素量(kg/10a)				
		粗麦	製品		起生期	幼穂期	止葉期以降	合計	
高タンパク	41	12.5	810	749	92.5	7.0	5.2	8.0	20.2
適タンパク	32	10.5	819	761	92.6	5.1	3.8	5.4	14.3

網走農業改良普及センター畑作部会

畜産

春作業の準備をしよう！

昨年は飼料用とうもろこしの倒伏被害もあり、粗飼料の収量確保が重要な農場も多いと思います。施肥量は同じでも、施肥時期によって牧草生育に及ぼす肥料効果が違います。

施肥の適期

牧草は気温が5℃以上になると生育を再開します。

チモシー混播草地では、牧草の萌芽（草地全体がうつすらと緑色になった頃、表1）までに行うことで、収量をさらに向上させることができます。これは、窒素吸収が盛んな萌芽期に施肥することで、穂が出る茎の数が増え、結果として収量増につながるためです。同じ施肥量でもタイミングを変えることで1・4倍の増収が期待されます（図1）。

経年草地では、表面が茶色でも枯草の下で萌芽している場合があるので確認が必要です。

施肥の配分

年間の施肥量は表2の通りですが、刈り取り回数によって早春の施肥量が変わります。チモシー主体草地では2回刈りを前提とし、早春施

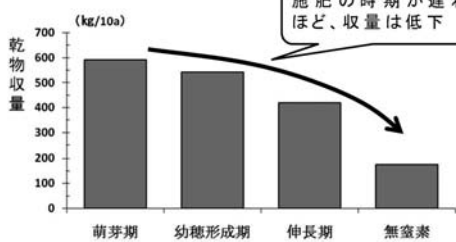


図1 早春の施肥時期がチモシー1番草乾物収量に及ぼす影響（根拠農試、1986）

表1 各町村のチモシー萌芽期

	遠軽町	湧別町	佐呂間町
萌芽期(平均値)	4月19日	4月19日	4月22日

この日までに施肥を行うことを目指しましょう！

表2 チモシーの施肥標準(kg/10a年間)

マメ科	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
多い	6	8	18
少ない	16	6	18

※マメ科率 多い:15~30%、少ない:5%未満

肥量が2に対し、1番草収穫後の追肥は1とします。追肥のタイミングは、刈り取り後5〜10日が目安となります。

ほ場の排水状態、牧草の萌芽期などを確認しながら、ほ場に入れるようになったら速やかに施肥ができるよう肥料や機械の準備をしておきましょう。

第28回 J A 北海道大会 パネルディスカッション 農業価値の向上をけん引する北海道農業 若者がほしがる我が国農業

北海道経済連合会 名誉会長 近藤 龍夫 氏

J A 北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業と J A グループに期待すること」をシリーズで紹介します。



近藤 龍夫 氏

(ここんどう たつお)

北海道経済連合会 名誉会長
公益社団法人北海道観光振興機構 会長

第1回は、近藤龍夫氏の提言を紹介します。

北海道が率先して国民への 農業価値理解活動を

農業価値とは農業の存在価値的な意味合いと理解して頂きたい。

世界的には、『国土を確保して守ること』、『エネルギーを確保すること』、『農業を主とする食を守ること』、『この3つが国として最低限やらなければならないこと』。

国家的に食・農業を価値ある重要なことと位置付けている国がたくさんある。食・農業を大事にしなければならぬ。

しかし、わが国では、農業の重要性、農業価値が忘れられてきた感がある。

将来的には世界的な食料危機がさやかれ始めており、

今こそ農業の重要性の国民的な理解が必要。政治や、幼少教育の場などを通じて農業立国北海道が率先して理解活動を行っていくべき。この理解こそが正しい農業の普及につながる力にもなる。

北海道農業実現に向け 国の制度づくりを

これからの農業政策において、国民に必要な基礎的な食材にあたる重要品目については、国が一定の自給

力を確保するということを前提として、確たる生産目標と、その実現のための政策・制度を定める。そして、目標達成に協力する優良な農家が安心して生活し、生産に励むことができるように守るべくところは守るなどして、生産環境を整備していく必要がある。

このような生産環境づくりの政策提言や生産活動の推進すなわち農業価値向上のけん引役として、北海道が産学官一体となつて国を動かして実現を目指すべき。

これらが実現してこれまでの猫の目のように変わる対策型の政策ではなく不動の政策となれば、国民とりわけ農業者の望むところであつて、「若者がほしがる農業」として目指すところが明確になるので、将来に希望ももてる北海道農業が実現していくのではないかと信じている。

行きつくところ、日本の農業は、

北海道的な農業に変わっていくべき。

それが、世界の常識的な農業の姿。

積極的に中央に出ていき、国の制度作りに参加する。北海道農業に近い制度をつくるようにもっていく。

それには農業者だけでなく、北海道大学にもなつてもらう。また、例えば農業に経済的なセンスを入れる

ときも、経済家ではなく、農業経済は農家がやれるよう北海道大学に力

になつてもらおう。農業経済は農家に任せておけというくらい、農業者は

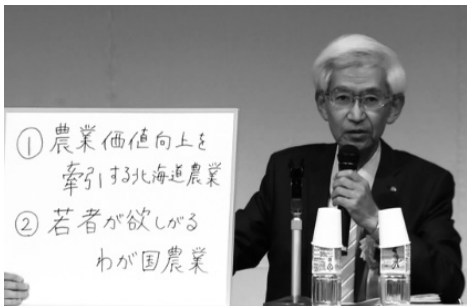
日本経済全体にも関わっていく力を持つべきで、農業の専業地帯である北海道から発信するのが産学連携の形である。

そろそろ日本の農業構造を変えるべき時に来ている。やはり、北海道から発信していくのが一番素直な姿であり、スタートポイントになつて欲しい。

最後に一言

力強い農業が今回の大会の基本目標になつている。

そのためには生産、加工、流通、販売、それぞれがこれからの農業には特に科学的に、そして経済学的にも世界の最先端、高度化を図って日本の農業をリードする、そんな北海道農業になつて頂きたい。



理事会のあらまし

第1回理事会（平成28年2月27日）

◇報告事項

1. 決算棚卸の結果について
2. 債権の償却について
3. 固定資産の取得について
4. 組合員の異動について
5. 国営かんがい排水事業進捗状況について
6. その他

◇議案

1. 任意積立金の新設について
原案通り承認されました
2. 平成27年度決算および剰余金処分(案)について
原案通り承認されました
3. 平成27年度資産自己査定結果について
原案通り承認されました
4. 株遠軽食品の創立について
原案通り承認されました
5. 外部出資の取得について
原案通り承認されました
6. 定款・規約・規程等の一部改廃について
原案通り承認されました
7. 第17回通常総会の開催日時・場所および提出議案について
原案通り承認されました
8. 定款52条第9号に該当するクミカン貸越極度額の設定について
原案通り承認されました
9. 理事に対するクミカン貸越極度額の設定について
原案通り承認されました
10. 組合員に対する資金の貸付について
原案通り承認されました
11. 出資金の一部譲渡と減口について
原案通り承認されました
12. 平成27年度経営定期点検の結果及び平成28年度実施計画について
原案通り承認されました

読者の声

今朝、マイナス28・9℃ありました。寒かったです！あと2週間もしたら、ビートの種おろしが始まります。今年も農場の秋を目指して、主人と2人で仲間に助けってもらいながら頑張ります。アドバイスよろしく願います。

(P・N ゆうの母より)

あの日は確か全道一寒かったですね。畑作の皆さんも春の準備が始まってきていますが、農作業事に故に留意していただければ助かります。

TPP担当大臣の失態で辞任して、これからの成り行きが心配です。大丈夫でしょうか？

(匿名)

ホント心配ですよ。問題点の洗い出しと対策をしっかりと実行してもらわないといけない時期なのに。

上湧別ローソンのお買い物物とき、終わって両手に買物袋を手を持って戸口に出ようとしたら、店員さんが戸口まで来て下さり、戸を開けて下さり、本当にちよつとしたことですがありがたく思いました。いつもローソン利用してま

(匿名)

気遣い気配りはちよつとしたことですが、人と人を円滑にする潤滑剤ですね。

今年も立春が来て、気持ちが少し暖かくなってきました。今日この頃です。

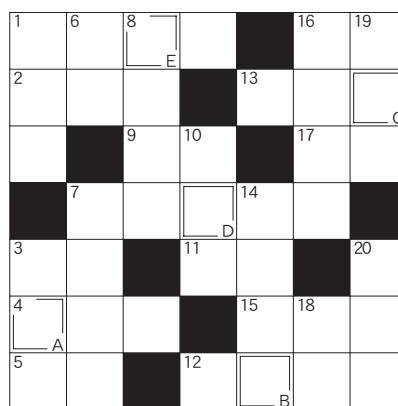
(匿名)

厳しく冷え込む日もありますが、少しずつ暖かくなってきましたね。

私の裏山には、シカ、タヌキ、キツネ、カラス、キツツキなどの動物がたくさんいて、飼犬のタツチがそれらに吠えまくっていて、賑やかな大自然が一杯です。

(匿名)

少しずつですが、里に動物たちが降りてくるようになり、春も近づいて来てますね。



A	B	C	D	E

2月号の答えは「ヨモギモチ」でした。もう少し寒い時期が続きますがお身体ご自愛下さい。当選者は下記の方々です。

湧別町南兵村三区 野田 和美さん
 遠軽町向遠軽 菅井 美香さん
 遠軽町白滝 渡辺 百合子さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り 3月25日(金)

タテのカギ

- 1 危険を感じると切って逃げるトカゲもいます
- 3 鶏の頭に付いています
- 6 腕に――をかけて料理を作った
- 7 ビールの原料によく使われる穀物
- 8 ホーホケキョと鳴きます
- 10 スピードを上げること
- 14 日本風の料理のこと
- 16 話し声が周囲にすっかり漏れている状態
- 18 緊張したときにゴクリと飲み込む髪をとかすのに使います
- 20 この上で白い石と黒い石が戦います

ヨコのカギ

- 1 4月29日は国民の祝日、――の日です
- 2 さおやリール、浮き、糸など
- 3 ななつ、やつつ、このこのつ、――
- 4 お坊さんの作業着 それ以外の人も普段着として着ることがあります
- 5 玄関や金庫の扉に掛けるもの
- 7 山菜をたくさんもらったので、隣近所へ――した
- 9 えんべらがあある生き物
- 11 髪をとかすのに使います
- 12 チョークで字や図を描きます
- 13 時代劇の俳優はたいいてい頭に付けています
- 15 ――のクローバーは幸せを呼ぶそうです
- 16 真珠を数えるときに使う言葉
- 17 琵琶湖の――はオオナマズ?

～畜産課からのお知らせ～

生乳への抗菌性物質の残留事故を防止しましょう！

- ① 複数のマーキングで識別！
- ② 治療内容を記録・保管！
- ③ 治療牛は隔離！
- ④ 搾乳前に搾乳作業員全員で治療牛を確認！
- ⑤ 治療牛の乳は全て廃棄！
- ⑥ 再出荷前に確認検査で陰性を確認してから出荷！



今一度、搾乳作業の点検・見直しを実施してください。

春の農事部懇談会開催について

例年実施しております春季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。

日程上、都合の悪い場合は、本所営農課もしくは各支所までご連絡お願いいたします。



【春季農事部懇談会日程】

	午 前 10:00~12:00	午 後 13:30~15:30
3月31日(木)	屯市・5の2・5の3 JA本所会議室	4の3・5の1 JA本所会議室
4月 1日(金)	開盛・札富美・旭 JA本所会議室	4の1・4の2 JA本所会議室
4月 2日(土)	富美・上富美 富美住民センター	遠軽・学田・清川 社名淵・瀬戸瀬第1.2 JA遠軽支所会議室
4月 4日(月)	安国・生田原・清里 JA生田原支所会議室	丸瀬布 丸瀬布コミセン
4月 5日(火)	白滝 白滝集落センター	予備日

ひざし

発行日 平成28年3月10日
編集 営農課 営農企画係
印刷 株式会社 岡田印刷
中川 菊夫

第190号 失言・暴言・不祥事...

いもたま作造くん

作: HIDETO
絵: HISAMI

〒099-6501 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地230番地
TEL 01586-2-2161 / FAX 01586-2-4797
ホームページ http://www.ja-enyu.com
メールアドレス kikaku@ja-enyu.com